

お宝発見 下北ジオパーク

vol. 18 (2020年4月号) 毎月20日発行

お宝 No.18 釜臥山 (むつ市大湊地区)



2020年3月23日撮影

記録的な暖冬

目の前に広がる陸奥湾や芦崎を眺めながらスノースポーツを楽しむことができる釜臥山スキー場。例年は12月から3月まで営業していますが、今年の暖冬でもうすっかり雪がありません。

釜臥山（かまふせやま）の情報

※写真は釜臥山スキー場の麓から撮影しました

以下はスキー場に関する情報です

- 所在地 青森県むつ市大字大湊大川守 44-5
- 交通 JR 大湊駅より車で約 10 分
- 駐車場 あり (約 200 台)

イベント Pick Up!



仏ヶ浦定期航路運航開始

国指定名勝及び天然記念物 仏ヶ浦への観光船の運航が始まります！

・脇野沢～仏ヶ浦

夢の平成号 4月15日(水) 10:45～

・佐井～仏ヶ浦

佐井定期観光(株) 4月20日(月) 9:00～

仏ヶ浦海上観光(株) 4月25日(土) 9:00～

船上から
見える景色



仏ヶ浦



願掛岩

活動報告

「下北かるた大会」

2月22日(土)にむつ市立第三田名部小学校を会場に第25回下北かるた大会が開催され、市内6つの小学校から3年生総勢約120名が参加し競い合っていました。

みんな真剣に臨んでおり、生半可な大人では太刀打ちできないレベルの競技が繰り広げられていました。下北かるたの札には下北のお宝がたくさん登場し、子どもたちが自分たちの暮らす地域に興味を持つきっかけになっていると感じました。



ごあいさつ

2017年4月から、むつ市ジオパーク推進課で下北ジオパークの普及活動などをしてきた小池推進員が、今年の3月で退職することとなりました。今月号では誌面をお借りして、ごあいさつをさせていただきます。

『お宝発見 下北ジオパーク』2020年4月号を手にとっていただき、ありがとうございます。

私はジオパーク推進員としてのお仕事をさせていただくまで、青森県に来たことがありませんでした。下北に関しては大間のマグロや恐山について聞いたことがある程度の知識でした。それから3年間、もしかするとずっと下北で暮らしている読者の皆様よりもいろいろな場所にいったかもしれません。その中でも一番のお気に入りが釜臥山展望台から見える景色で、「下北半島のまさかしの形が本当に地図と同じに見える」と、初めて行ったときに感動したのを覚えています。今年はむつ市で全国夜景サミットが開催されますし、光のアゲハチョウと呼ばれる夜景を見に行くのもオススメです。

また、この3年間、ジオパークの普及などに努めるなかで、皆さん地域の外から来た私にも優しくいろいろなことを教えてくださり、さまざまな人に助けていただきました。下北がジオパークに認定された当時、私はまだこちらにはいませんでしたが、認定の大きな要因として、地域の方々が積極的にジオパーク活動に取り組んでいたことが評価されたと聞いております。この広報誌はまだジオパークについてあまり知らない方に、ジオパークの見どころやどんな活動をしているかをわかりやすく伝えることを目的として発行してきました。これを手にとっていただいた方が興味を持ってジオパークの活動に参加していただければ、推進員としてうれしいかぎりです。

ジオパーク推進員としての仕事はひとまず終わりとなりますが、3年間の経験を生かしてこれからも下北を盛り上げるために活動していきたいと思っております。下北ジオパークに関わる皆様、これまでありがとうございました！

(小池拓矢)



編集後記

「風が吹けば桶屋が儲かる」と言いますが、これは、「土ぼこりで盲人が増えて三味線弾きが増え、三味線の材料となる猫の皮の需要が増え、増えたねずみが桶をかじるから桶屋が儲かる」という意外なストーリーがあります。「下北には4つの地質がある」にも、実は日本列島の成り立ちに関わる壮大なストーリーが隠れています。このストーリー理解すると、下北地域の大地の凄さを思い知らされますよ。(石川)